

# 夢あるまち 豊かなまち 元気なまち

—『住みたいまち にかほ』を目指して!—



小出地区の市政説明会

■今後、計画されている大型事業などをお知らせください。また、これに伴う市の財政状況についての説明もお願いします。

●項目だけを申し上げますと仁賀保統合中学校建設事業、金浦地区のまちづくり交付金事業、旧3町を結ぶ幹線道路整備事業、松ヶ丘団地の建設事業、防災無線の整備事業などがあります。

以上のような大型事業を計画している市の財政計画の見直しについては、議員報酬の引き上げ、また合併効果、それに対する「行財政改革大綱」ならびに



市の重要施策を説明する横山市長

市の消防本部は、現在の体制を維持するためには、まだ職員数が足りない状況です。

そこで、広域化により総務部門や指令部門などが一緒にになりますので、救急や消防活動に職員を増やすことができます。また、高度な車両などの整備も可能となりますので、メリットのほうが大きいと考えています。

■平成23年から地上テレビ放送デジタル化になりますが、テレビを買っても映らない、テレビを見ることができないというところがないようにお願いします。

●平成19年度に事前調査を実施していますが、まだ映らない地域があるようです。

市ではことしの4月にNHK

「集中改革プラン」などの推進を見込んで財政計画を立てていますので、健全なレベルで推移すると考えています。

ただし、現在国会で議論されている揮発油税等の暫定税率や道路特定財源の一般財源化など、不透明な部分があり、その動向を見極め、状況を把握し、その都度、事業計画や財政計画の見直しを図りながら、後世に過度の負担が残らないよう、今後も健全な財政運営に努めていきたいと考えています。

■文化施設の件ですが、ことしに入ってから、アンケート調査を実施したような話もあります。結果はどうだったでしょうか。基本的に大きな借金をしてまで建設する必要はないと思いますが、公約だからといって、絶対建てなければならぬものでしょうか。

●地域交流センターについては、旧3町が合併する時の約束で、合併後3年以内に建設するとしており、この合併協定については、重く受け止めたかと思っております。ただし、このような施設整備については、ほかのサービスを削減してまで実施すると

にこの調査データを基に、難視聴地域に対する陳情を行っております。具体的な回答はありませんでしたが、今後まだ整備予定の中継局等もありますので、引き続き調査しながら対応して行きたいと考えています。

■「にかほ市地球温暖化防止実行計画」が策定されましたが、各施設ごとの目標項目と目標値、さらに実施事項についてお知らせください。

●地球温暖化対策市町村実行計画は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、ことし3月に策定し、同時に広報にかほやホームページで公表しているところです。

計画の対象となる施設の範囲は、仁賀保・金浦・象潟各庁舎のほか、各公民館、各保健センター、消防署、ガス・水道事業所などの20施設です。

次に計画期間と目標値は、平成20年度から24年度までの5カ年で温室効果ガス、いわゆる二酸化炭素を7%削減することを目標としています。

次に具体的な取り組み項目ですが、大きく分けて5項目を掲げています。①省資源、省エネ

いうことではなく、当然、将来的な財政見通しの中で、維持管理等を含めても健全財政を維持できるということが大前提となります。

また、まちづくり交付金事業を実施するためには、必ずアンケート調査を実施しなければなりません。それで、金浦地区のまちづくり計画は、高潮対策や大雨による冠水対策、観音湯や竹嶋湯の整備など、一連の計画として行いますので、地域交流センターも含めて、効果が期待できるかどうかについてのアンケート調査を実施しました。

結果として、全体では約53%の方が期待できると回答しています。ほかに意見として「子供と一緒に遊べるような施設にして欲しい」「イベントの



市の説明を熱心に聞く皆さん

また、まちづくり交付金事業を実施するためには、必ずアンケート調査を実施しなければなりません。それで、金浦地区のまちづくり計画は、高潮対策や大雨による冠水対策、観音湯や竹嶋湯の整備など、一連の計画として行いますので、地域交流センターも含めて、効果が期待できるかどうかについてのアンケート調査を実施しました。

結果として、全体では約53%の方が期待できると回答しています。ほかに意見として「子供と一緒に遊べるような施設にして欲しい」「イベントの

また、まちづくり交付金事業を実施するためには、必ずアンケート調査を実施しなければなりません。それで、金浦地区のまちづくり計画は、高潮対策や大雨による冠水対策、観音湯や竹嶋湯の整備など、一連の計画として行いますので、地域交流センターも含めて、効果が期待できるかどうかについてのアンケート調査を実施しました。

●職員の対応については、部長会議等を定期的に開いており、その都度、県の管轄であろうと、国の管轄であろうと、相談を受けた職員は、市民の身になって、「管轄する部署に問い合わせるから、のちほど詳しく説明します」と対応するよう指導しています。

しかし、その領域まで達していないということを非常に残念に思います。

これからもその指導については、徹底して行っていく予定です。

■困りごとで市に問い合わせた時「市の範囲ではありません。県の範囲です」と言われ、非常に面食らうことがあります。

そこでお願いですが、市の職員が親切心を持った対応ができないものでしょうか。

市の職員は、我々の代表として税金で養われているのですか



スマイル会場にて

有無に関わらず普段でも市民が集い、楽しめるような施設にしたい。など、さまざまな意見がありました。このような意見を踏まえ、今年中にもう一度、施設整備の構想を練り直すことになっていきます。

■消防の広域化が計画されているようですが、現在でも、救急にしても消防にしても、地域的に遠いところがあります。さらなる広域化になれば、サービスの低下が心配されます。

市としては、どのように考えているのでしょうか。

●県では、現在、13消防本部あるうち、これを7消防本部に再編するという推進計画が策定されました。

にかほ市消防本部は、由利本荘市消防本部との広域実現に向けて今年度から広域運営計画の作成協議が行われ、合併するとすれば、平成24年度末の広域実現になります。サービスが低下するのではないかとという心配ですが、そもそも今ある消防本部、消防署を廃止しての広域化はしないということですので、サービスが低下するようなことは、あり得ないと考えています。

ら、改めてほしいと思います。

また、このことについては、部長さん方の責任でもあります。

どうぞ、部下をもっと地域住民の立場になって対応するよう教育していただきたいと思えます。

●職員の対応については、部長会議等を定期的に開いており、その都度、県の管轄であろうと、国の管轄であろうと、相談を受けた職員は、市民の身になって、「管轄する部署に問い合わせるから、のちほど詳しく説明します」と対応するよう指導しています。

しかし、その領域まで達していないということを非常に残念に思います。

これからもその指導については、徹底して行っていく予定です。

## 市政説明会を終えて

市政説明会でいただいた皆さんからの貴重なご意見はこれからの市政に反映できるよう努めていきます。

今後も市民を主体とした協働のまちづくりの推進のため、なおいっそうのご協力をお願いします。